
インターフェイスの街角 (48)

Wiki と掲示板の融合

増井俊之

4月号で、Web ページの内容を誰でも変更することができ、別のページへのリンクも簡単に張れる「Wiki Wiki Web」を紹介しました。Wiki Wiki Web はたいへん興味深いシステムですが、なぜかそれほどひろく普及しているようにはみえません。そのもっとも大きな理由は、知名度の低さでしょう。さらに、誰でも Web ページを編集できるという仕組みに違和感を覚える人が多く、誰がどういふ順番で情報を追加したのかが分かりにくいといった点も普及への妨げになっているようです。

一方、Web 上の「掲示板」は相変わらずの大盛況で、内容によっては社会問題になりかねないほどです。いまや、メールに続く重要な情報交換システムになったといってもいいでしょう。

Wiki Wiki Web も掲示板も、多くの人びとのあいだで情報を交換・共有するためのツールという点は共通していますが、下記のようにそれぞれ得手不得手があります。

- 掲示板の利点
 - 時間順や投稿時刻が分かりやすい。
 - 誰が情報を提供したかがはっきり分かる。
 - 知名度が高い。
- 掲示板の欠点
 - 古い情報は消えてしまう。
 - 1人で使っても意味がない。
- Wiki の利点
 - 誰でもどこからでも論議に加われる。
 - 簡単に Web ページを作れる。
 - 1人で使う場合もそれなりに便利である。
- Wiki の欠点
 - 時間の関係が把握しにくい。
 - 誰が編集したのかが分からない。

—なんとなく敷居が高く(ような気がする)

こうしてみると、掲示板も Wiki Wiki Web も優れた情報交換システムであり、相互に補いあう特徴をもっていることが分かります。

掲示板では、時間的な経過ははっきり分かりますが、話題がどんどん変化していくため、固定的な情報の編集には不向きです。一方、Wiki Wiki Web の場合は、時間経過は曖昧になりがちですが、静的な情報の生成に向いています。たとえば、1つの話題をめぐる論議を交わすときは掲示板が適していますが、その論議の結果をまとめて保存しておくには Wiki のほうが便利です。

掲示板と Wiki のそれぞれの利点を活かすかたちで併用すれば、便利で使いやすいシステムになるのではないのでしょうか。

すこし前から、Web ブラウザを用いたグループウェア製品やサービスが続々と開発されています。試みに Yahoo! の「グループウェア」のカテゴリーをみると、企業向けのグループウェアを販売しているサイボウズ¹や、インターネット上で「オンライン PIM」サービスを提供する DoSule!²など、数十種類もの Web ベースのグループウェア製品が表示されます。

これらのグループウェアでは、各種のスケジュール管理とメッセージ交換が中心的な機能として重視されています。グループの所属メンバーの予定を把握し、会議の日程を調整できるようにしたり、あるいは会議室などの共同施設の利用予約をおこなう機能は、グループウェアの定番ともいえます。グループ内でメッセージを交換したり、論議

1 <http://www.cybozu.co.jp/>

2 <http://www.dosule.com/>

を交わすための機能もかならず用意されています。

市販のグループウェア製品では、これらの機能を別々のシステムとして提供することが多いようです。たとえばサイボウズの製品では、会議室予約やスケジュール管理など、用途に応じて 10 を超える機能が用意されています。

これらの製品では、用途ごとに異なるシステムを使わざるをえませんが、その性質上、使い方がかなり限定されるのではないのでしょうか。したがって、想定されていない用途で利用するのはかなり難しく、異なるシステム間ではデータの連携がとりにくくなるおそれがあります。

これに対し、あらゆる用途に柔軟に対応できる単純かつ強力な基本システムを用意すれば、こういった問題も起きにくいでしょう。

今回は、掲示板と Wiki の基本機能だけを用いたグループウェア機能の実現について考えてみます。

掲示板 + Wiki = グループウェア

極論をいえば、日記やメモ、スケジュール管理、議論などは、人間が書いた文章を並べたものにすぎません。いろいろな人の意見をトピックごとに時間順に並べたものは掲示板に、内容を考慮して読みやすく並べたものは普通の文書にみえるでしょう。また、考えたことをとりとめもなく時間順に並べたものは日記に、予定だけ取り出してカレンダーの上に並べればスケジュール帳にみえます。

最初から定型的な文書を作ろうとするのではなく、非定型文書を並べ替えて定型文書にするという方針にしておけば、メモをとったり意見を交換したり、あるいはスケジュールを調整したりといった非定型的な要素の多い仕事に適した文書管理システムが作れるはずですよ。

このように考えていくと、次々に作成されるテキストを時間順に並べて表示する仕組みと、内容に応じて編集しやすいようにまとめる仕組みさえあれば、たいいていの作業に適用できそうです。前者には掲示板を、後者には Wiki を使えばよいことになります。

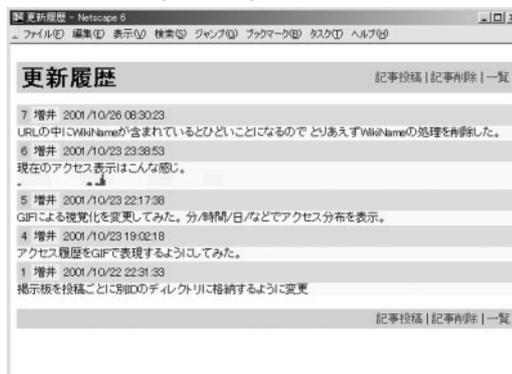
掲示板も Wiki も、もともとは共同作業や情報交換のためのシステムです。ただし、個人的な日記やメモ帳のような用途にも十分便利に使えるように思います。

以上のアイデアをもとに、Web 上で掲示板と Wiki を統合したシステムを作ってみました(Perl で書いた CGI

図 1 タイトルリスト



図 2 掲示板の例(更新履歴)



プログラムです)

タイトルリスト

図 1 は、すべての掲示板と Wiki ページを一覧表示するトップページです。掲示板と Wiki ページは色分けされています。右側には、各掲示板や Wiki ページへのアクセス状況を視覚化して表示します。たとえば、過去 10 分以内にアクセスされたページは一番左の “10 分” の欄に棒が表示され、時間の経過とともに “1 時間” “1 日”、…… というふうに右に移動していきます。

掲示板

図 1 から “更新履歴” という掲示板を選択すると、図 2 の掲示板が表示されます。掲示板といっても、この例では投稿者は私だけですが、更新履歴のように時間の経過が重要な場合には掲示板の形式で情報を保存しておくほうがなにかと便利です。

掲示板への投稿

図 2 の右上にある “記事投稿” をクリックすると図 3 の

図 3 記事投稿

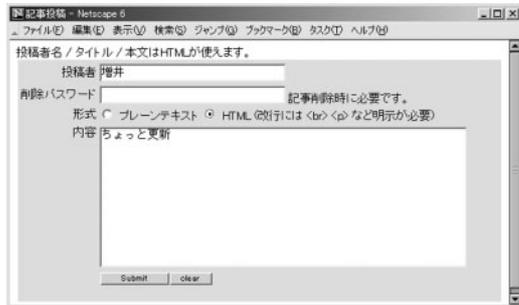


図 4 投稿後の更新履歴

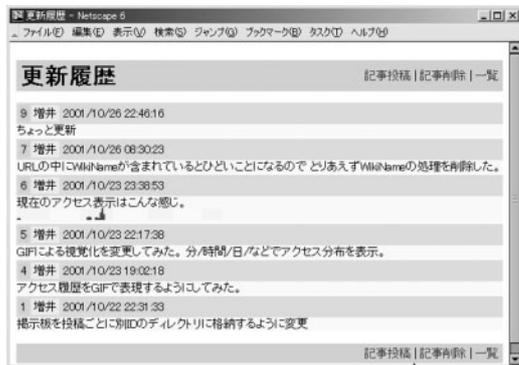


図 5 記事投稿後のタイトルリスト



フォーム画面が表示され、新しい記事を投稿できるようになります。必要事項を書いて [Submit] ボタンを押すと、掲示板が図 4 のように変わります。

掲示板の更新にともない、タイトルリストも図 5 のように変化し、“更新履歴” が先頭に移動しています。

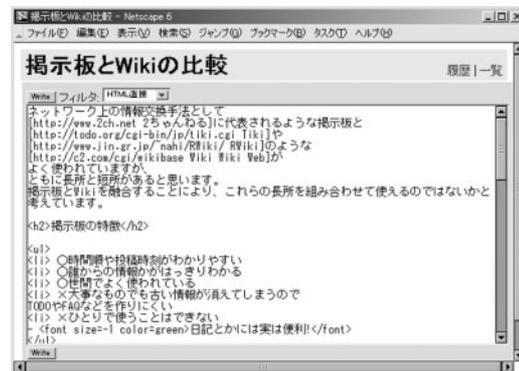
Wiki ページの編集

図 6 は Wiki ページの例です。このページのように、時間軸をそれほど重視する必要のない情報を扱う場合に

図 6 Wiki ページの例



図 7 Wiki ページの編集



は Wiki ページのほうが便利でしょう。ここで右上の“編集”をクリックすると、画面が図 7 に変わり、Wiki ページの編集ができるようになります。

この例では HTML を直接記述していますが、URL と名前を “[]” で囲んでリンクを指定する簡易記法も使えます³。

名前を “[[]]” で囲むと、その名前の Wiki ページへのリンクが生成され、“<< >>” で囲むと、その名前の掲示板へのリンクが生成されます。これによって、掲示板や Wiki ページ間での相互参照が簡単に実現できます。

Wiki ページのフィルタ

図 8 は、予定表のための Wiki ページです。このページはユーザーが HTML 形式でデータを直接記述するわけではなく、単純な予定データをフィルタに通し、HTML のテーブルを自動生成してカレンダーを作る仕組みになっ

³ セキュリティへの配慮が必要な環境では、HTML を直接記述できるようにするのは問題かもしれません。ただし、個人あるいはグループ内での使用に限定するのなら、これでもかまわないと思います。

図 8 予定表

10/21 (日)	10/22 (月)	10/23 (火)	10/24 (水)	10/25 (木)	10/26 (金)	10/27 (土)
10/28 (日)	10/29 (月)	10/30 (火)	10/31 (水)	11/1 (木)	11/2 (金)	11/3 (土)
		講演会				文化の日
11/4 (日)	11/5 (月)	11/6 (火)	11/7 (水)	11/8 (木)	11/9 (金)	11/10 (土)
11/11 (日)	11/12 (月)	11/13 (火)	11/14 (水)	11/15 (木)	11/16 (金)	11/17 (土)
11/18 (日)	11/19 (月)	11/20 (火)	11/21 (水)	11/22 (木)	11/23 (金)	11/24 (土)
		AVI02締切				
11/25 (日)	11/26 (月)	11/27 (火)	11/28 (水)	11/29 (木)	11/30 (金)	12/1 (土)

図 9 予定表編集画面



ています。

図 8 で右上の“編集”をクリックすると、図 9 の編集画面が表示されます。この図からも分かる通り、データはごく簡単なテキストとして記述します。これをカレンダー用のフィルタで処理することにより、図 8 の HTML が生成されます。

カレンダーだけでなく、各種のフィルタを用意しておけば、さまざまな用途に対応させることができます。たとえば毎日入力する家計簿のデータをもとに、収支グラフを生成するフィルタも作れるでしょう。

実装と使用実績

掲示板や Wiki ページへの書込みをおこなう場合には、新しいメッセージや編集された Wiki ページに対して時刻にもとづく新しい ID を割り当てて保存します。掲示板であれば同じタイトルのデータを集めて時刻順に表示し、Wiki ページであれば最新データのみを表示します。このように、掲示板と Wiki ページは一見すると違うもののようにみえますが、データ自体は ID のみで管理するごく単純な形式にしてあります。このデータ管理手法は、2000 年 5 月号で紹介した Q-Pocket と同じなので、異なる PIM などとのデータ交換も容易です。

今回のシステムは、開発してから日が浅く、使用実績はそれほどありません。しかし、いままでのところは、掲示板と Wiki の組合せはなかなか快適です。しばらく実験的に使いながら、予定表やメモなどの PIM に関連するものや、グループウェアとして扱うデータをこの形式に移行しようと考えています。通常の Web ページもこの形式で記述できるようにしておけば、どこにいても修正が可能になります。PDA との同期が可能であり、個人でもグループでも同じソフトウェアを使える点は、将来的に大きなメリットになると思います。

このシステムは、通常の Web ブラウザと CGI の利用を前提としているため、Q-Pocket で用いた動的検索のようなインターフェイスは使えません。また、Emacs のように強力な編集機能が利用できないという問題もあります。しかし、データ自体は単純な構造なので、Web ブラウザ以外のインターフェイスを揃えていけば、さらに使いやすいシステムに仕上げられるのではないかと思います。メールで予定表を管理する MHC⁴と同様な方法を用いて、メールを介した情報の追加や検索がおこなえるようにすれば、携帯電話だけで使えるシステムになります。

おわりに

以前から、PIM といえどもグループウェアとしての機能が重要だと指摘する声は少なくありませんでした。しかし、そのための機能を活用している人はあまりいないようです。

これまでは、ネットワーク環境が未整備だったこともあって、スケジュール管理に紙と鉛筆を使おうが、PDA や PC を使おうが大差ないのが実情でした。ここに来て、ようやくネットワーク基盤が整い始めたため、ネットワークを活用するグループウェアは大きく発展する可能性があります。柔軟かつ単純で、優れたシステムの開発が求められるところです。

今回のシステムは、私の Web ページ⁵で公開しています。掲示板への投稿や Wiki ページの編集もできるようにしていますので、ぜひお試しください。

(ますい・としゆき ソニー CSL)

4 <http://www.quickhack.net/mhc/>

5 <http://www.csl.sony.co.jp/person/masui/WikiBBS/>